

イベント

万博ネイチャーフェス（ラリー）

H8～16 H25～R元

万博では平成7年からネイチャーラリーがスタートしていました。自然大学全体の行事として行われました。研究科ができてからは研究科も参画し、平成16年まで続けました。

当初は森の工作教室参加者に公園内の自然に触れていただく目的で、クイズをしながらポイントを巡るものでしたが、徐々に変化しブース担当者が工夫し実施する方向になりました。この後しばらくは研究科がはずれ、講座生主体で行われたようです。

平成25年からは大学校祭として行われるようになり、研究科も参加することになりました。全体に工作やゲームが主流ですが、インプリ科は毎年ネイチャーツアーを実施しています。地味な行事ですが、お土産にツクバネヘリコプターを出すようになってから、急に人気が出てきました。

<令和元（2019）11.3万博ネイチャーフェス>



愛パークフェスタ・どんぐり祭り H8～11

自然大学初期の活動の拠点の一つは錦織公園で、遠足下見ガイドツアーが活発に行われました。また公園来園者相手のイベントも自然大学と自然友の会が共同で行いました。

水の科学博物館でのイベント H8～12

夏休みイベント「作って遊ぼう」をインプリ科のメンバーも参加し実施しました。平成12年まで続けました。

工作だけでなくエコロジー（資源の節約）の啓発も行いました。

万葉森林ピック H9

国営飛鳥歴史公園が募集した夢プランにインプリ科が応募し、「万葉森林ピック'97 きて・みて・さわって参加しよう」が採用されました。インプリ科が中心となった行事で、他科の応援も得て総勢22名で実施しました。

下見やりハーサルに7日以上準備を要しました。古代人衣装も準備し望みました。本番は天候に恵まれ、約150名の参加となりました。9ポイントをツアー方式で案内しました。ムクノキの実の試食、クマザサ茶の試飲などもありました。楽しかった！おもしろかった！との声を多数いただきました。

地球館エコヤード行事 H10～14

平成10年自然体験観察園の開園に合わせ実施。小さな自然観察会、自然教室、農事体験など年間50回を超える大きな行事でした。学校全体での取組でした。平成14年まで続いたようです。後は風と緑の会に引き継がれたものと思われま

鶴見緑地自然教室 H16～22

平成16年鶴見緑地の花の谷で来園者を相手に自然観察会を実施。同時に呼び込みのため、松ぼっくり釣り、葉巻笛、実体顕微鏡を使った植物観察などを行いました。平成22年まで続けました。

八幡屋公園フェスティバル

H20～H21 H23～30

主に桜の時期に依頼があり実施しました。当初は桜の名札付けから始まり、やがてディスカバーウォークや工作などを行うようになりました。平成26年からは緑のクイズと正解者に自分で作った缶バッジを持ちかえってもらう手法が採用され定着しました。

長居植物園スプリング・オータムフェア

H25～R元

長居植物園では平成25年から春と秋にイベントの依頼がありました。当初はディスカバーウォークから始まり、八幡屋公園と同じく緑のクイズが定着しました。

<緑のクイズ風景と缶バッジ>



長居植物園ネイチャーツアーH26~30

1年間の準備期間を経て平成26年10月、長居植物園ネイチャーツアーはスタートしました。

依頼の内容は、「四季折々の植物園の魅力や植物の不思議、新しい発見などをテーマに園内を巡回しながら花や植物などの説明を行うこと。」でした。

言い換えると、来園者に植物の生き様、不思議についての案内で、私たちが日ごろ行っている社会貢献活動そのものでした。

それをインプリ科と風と緑の会で引き受けることになりました。

当初参加者が少ない時もありましたが、口コミで徐々に増え、1日平均にすると35人になりました。リピーターも結構多く、そのうち参加者同士で仲良くなり、ひとつのコミュニティーができて

ました。彼らは今でも仲良しグループとして活動しています。

多くの方によるこんで頂いたネイチャーツアーでしたが、3年目の平成28年4月から参加費100円と有料になりました。私たちは反対でしたが委託先の都合ですので、従うしかありません。これまで順調だった参加者も、これを契機に1日平均20人になりました。常連の方の参加も徐々に減って行きました。

有料になって3年、落ち込んだ参加者は回復しないまま、平成31年3月をもって終了しました。

インプリ科と風と緑の会が交流できたこと、私たちスタッフが勉強できたこと、楽しかったことを胸に、終わらざるを得ませんでした。

最後に参加常連のリーダー格の方からお礼状が届きました。

「ネイチャーツアーのみなさんへ 私が今現在あるのはネイチャーツアーのおかげだと断言できません。植物のことは勿論、よき友がたくさんできました。

機械相手の仕事でしたから人との接し方、話し方が苦手でした。植物のことを覚えるごとに、自信がついて話ができるようになりました。自信180度人間が変身したのです。人は変われると実感しました。

今では何事にも積極的にとりくんでいます。今が人生で一番楽しいです。私だけではないです。こんな気持ちになれたのは、他にもいると思います。ネイチャーツアーのおかげで成長させてもらいました。本当にありがとうございました。心より感謝します。ネイチャーツアー担当の皆様にお礼申し上げます。」

令和2年度のイベント

イベントはコロナでほとんど中止となりました。そのような中で令和2(2020)年10月18日 UTSUBO テニスフェス (世界スーパージュニアテニス選手権関連イベント) に並行して、緑のクイズを実施し、正解者にはノベルティ(マスク入れ)を進呈しました。コロナウイルス感染症拡大予防対策を行った上、実施しました。